

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【公表番号】特表2000-512411(P2000-512411A)

【公表日】平成12年9月19日(2000.9.19)

【出願番号】特願平10-501959

【国際特許分類第7版】

G 07 C 15/00

A 63 F 3/06

【F I】

G 07 C 15/00 A

A 63 F 3/06 B

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月8日(2004.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書



平成16年6月8日

特許庁長官 今井 康夫 殿

1. 事件の表示

平成10年 特許願 第501959号

2. 補正をする者

住 所 オーストラリア、ニュー・サウス・ウェールズ 2000、

シドニー、ジョージ・ストリート 119

氏 名 カドリップ, ウィリアム, オーウエン

3. 代理人 〒530-0047

住 所 大阪市北区西天満5丁目1-3南森町パークビル

電話 (06) 6365-0718

ファクシミリ (06) 6365-9279

氏 名 弁理士 (6524) 野 河 信太郎



4. 補正対象書類名

「請求の範囲」および「明細書」

5. 補正対象項目名

「請求の範囲」および「明細書」

6. 補正の内容

別紙のとおり



補正の内容

- (1) 請求の範囲を別紙のとおり補正する。
- (2) 明細書第4頁15行目「視覚的に識別できる」～20行目「手段とを備えている」を「視覚的に識別できる2以上の部分集合に分けることのできる集合の要素と、識別できる2以上の部分集合に分けることのできる集合の到着先と、前記の集合の要素から1つの要素をランダムに選ぶための手段とを備えてなる装置であって、この装置が、ランダムに選ばれた前記の1つの要素を前記の集合の到着先の1つにランダムに関連づけるための手段をさらに備えてすることを特徴とする」に補正する。
- (3) 明細書第4頁21行目「第1集合の要素は」を「集合の要素は」に補正する。
- (4) 明細書第4頁24行目「第1集合から」を「集合から」に補正する。
- (5) 明細書第5頁3行目「第1集合のボールは」を「集合のボールは」に補正する。
- (6) 明細書第5頁9行目～10行目「第1集合から選ばれるか、」を「集合から選ばれるか、」に補正する。

請求の範囲

1. 視覚的に識別できる 2 以上の部分集合に分けることのできる集合の要素 (2) と、

識別できる 2 以上の部分集合に分けることのできる集合の到着先と、

前記の集合の要素から 1 つの要素をランダムに選ぶための手段 (11, 13) とを備えてなる装置であって、

この装置が、ランダムに選ばれた前記の 1 つの要素を前記の集合の到着先の 1 つにランダムに連づけるための手段をさらに備えていることを特徴とする装置。

2. 集合の要素が、複数のボールである請求項 1 記載の装置。

3. その組のボールは、それぞれの部分集合が色または模様によって互いに視覚的に識別できる複数の部分集合に分けられる請求項 2 記載の装置。

4. 集合の到着先が、ホイール (23) に形成された一組の区画部またはスロットである、先行する請求項のいずれか 1 つに記載の装置。

5. 到着先が、数字の目印によって互いに識別される請求項 4 記載の装置。

6. ホイール (23) が、上方へ開いた扇形の区画部に放射状に仕切られている請求項 4 または 5 のいずれか 1 つに記載の装置。

7. 集合の要素が、複数のボールであり、ここで、その集合からランダムに選ばれたあるボールは、その選ばれたボールが区画部の 1 つにランダムに落ち着くのに先立って、少なくとも 1 回のランダムな跳ね返りを含む通路を進むようにされる請求項 4 ~ 6 のいずれか 1 つに記載の装置。

8. その選ばれたボールが区画部の 1 つの中にランダムに落ち着くようにさせるのに先立ってホイール (23) を回転させる手段をさらに備えている請求項 7 記載の装置。

9. ホイール (23) が、中央のボス (24) を備えている請求項 4 ~ 8 のいずれか 1 つに記載の装置。

10. 中央のボス (24) が、ホイール (23) とともに回転する請求項 9 記載の装置。

11. 中央のボス (24) が、ホイール (23) の回転方向とは

逆に回転する請求項 8 記載の装置。

12. チャンバ (1) と、このチャンバ内で集合の要素 (2) をランダムに混ぜ合わせるための手段と、同チャンバからランダムに選ばれた 1 つの要素を取り除くための手段とをさらに備えている、先行する請求項のいずれか 1 つに記載の装置。

13. 選ばれたボールが、区画部の 1 つにランダムに落ち着くのに先立って垂直面内で跳ね返る請求項 7 または 8 記載の装置。